

山田錦のコンタミ(異品種混入)にご注意を！

見つけて、抜き取りをお願いします。

1 異品種が発生したの原因

前年に栽培した稲の籾が、収穫時にこぼれて発芽したものが多く見られます。

品種育成の際、異品種をかけ合わせて育種しますが、品種の固定ができていても、極まれにかけ合わせた親世代の特性を持った稲がでることがあります。

これも、異品種です。

また、雑草化した稲などもあり、問題となっています。

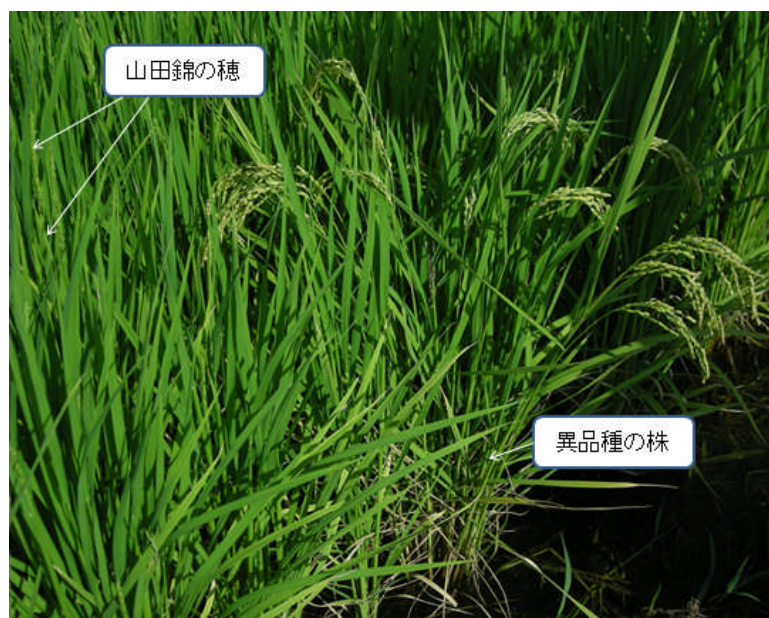
2 異品種の特徴

移植した稲は、整然と並んでいますが、株間条間の間に不規則に生育していることが多いです。

湖北では、前年に極早生・早生品種を栽培していることが多く、これが発生していると見られます。

山田錦とは出穂・登熟の時期、穂の姿が異なります。

雑草稲の場合は、実入りの状況が悪く、野生種のように薄い籾で脱粒しやすいなどの特徴があります。



見方 出穂期、高さ、穂の形が異なります。
不規則に発生しています。

追伸 紋枯病が多発している場合があります。病斑が20cm以上の高さに見られる場合は要注意です。現時点で2割以上の株で発病している場合は防除しましょう！

紋枯病は、倒伏を助長したり粒厚を薄くします。ご注意下さい。